

## 公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店

公表日 令和7年2月15日

利用児童数

9

回収数

6(同一世帯あり)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	42%	0%	0%	58%	・何があるかわからない。	・理学面、作業面、言語面に活用する教材教具はありますが、お子様のニーズの違いで提案までには至っていません。今後、お子様にとって必要な場合は、具体物を準備して提案してまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	0%	・月1～2回。	・保護者の方との相談の上、頻度を決めています。その上で訪問支援先の先生と相談して日程や時間などを決めています。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%	0%	0%	0%	・訪問に行く前に連絡があります。	・児童指導員、保育士だけでなく、心理担当職員、機能訓練士（PT、OT）が在籍しています。お子様のニーズに応じて複数職員の訪問が可能な体制を整えています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・思います。	・訪問前には訪問支援先での活動内容から、どの部分を確認し支援の方向性を検討するか訪問支援員の役割を伝えています。初回訪問時には、児童発達支援管理責任者が個別支援計画を基にお子様の現状からの課題、保護者様のニーズ、訪問支援先と一緒に取り組みたいことを具体的に伝える等、業務分担を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・しっかりと話を聞いて作成してくれています。	・個別支援計画作成にあたっては、会議を実施し、訪問支援員の見立てや機能訓練士（PT、OT）、保育士、心理担当職員の意見を踏まえて、最善のアプローチや支援の方向性を検討しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・思います。	・個別支援計画を作る前に、訪問支援先からお子様の現状や課題、一緒に取り組みたいこと等を聞き、事業所の考えとすり合わせて作成をしています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・必ず事前共有を行い、訪問前には前回の様子を踏まえて、今回の視点や検討事項のポイントを共有してから取り組んでいます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・考えられていると思います。	・訪問支援先の保育、教育理念や職員体制に伴う支援の仕方を考慮し、訪問を行っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		・契約時には、書面に従い、保護者様に説明を行っています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	85%	0%	0%	15%		・月一回、子育てセミナーと題し、月ごとのテーマを設けて勉強会やグループ相談（意見交換）の場を作っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	85%	0%	0%	15%	・同じ事業所で児童発達支援も利用しているため、こどものことを伝えやすい。	・同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、訪問前に直接訪問支援先のお子様の成長や不安な様子を確認し合っています。また訪問後には送迎時に直接口頭で情報共有を行っています。できていたことと、お子様の課題や配慮事項、そのために訪問支援先・事業所で取り組むこと等を話しています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・気になることは何でも聞いています。	・希望があった時には、SNSで文面での共有や、事業所で開催している個別相談、子育てセミナー等の場を使って相談や助言を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%	0%	0%	15%		・お子様の悩みや心配事の相談だけではなく、保育所等訪問を通して、訪問支援先との関係を良好にするための相談に迅速に対応できる体制を整え、実施しています。 ・個別相談の時間を毎月週2回定期的に開催していること、不定期に希望に応じることを周知しています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	85%	0%	0%	15%		・訪問支援を実施した際には、直接支援でのお子様の様子や客観的に観察したお子様の様子から配慮が必要な部分について担任の先生と情報交換をしています。さらに同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、事業所で取り組んでいる事やこれから取り組んでいく事を伝え、連携に力を入れています。
非常時等の対応	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・様子を細かく教えてもらっている。	・保育所等訪問支援を実施した後は、SNSでの連絡や直接口頭でのやりとりで報告を行っています。保護者様が気になっていることは訪問支援先での様子の報告に留まらず、同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、それを改善していくために事業所で取り組んでいこうと考えていること等、訪問支援先と事業所との連携を図る旨を保護者様に共有することを心掛けています。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%		・携帯のコミュニケーションツールを通して保護者様との連携体制、情報発信を行っています。HP、SNS等での活動概要等の情報発信は現在行っていません。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85%	0%	0%	15%		
満足度	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%	0%	0%	0%		・訪問時にはお子様がすぐ気づいて下さり、園での様子を教えてくれています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 令和7年2月15日
児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店	利用児童数 9人 回収数 6人(同園あり)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	・スマイルでの日々の様子など交えて話してくれるので、とても分かりやすい。	・同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、訪問支援先、事業所、ご家庭での様子はそれぞれ違うため、エピソードを交えながら具体的に伝えるように心掛けています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	・スマイルでの取り組みを聞いて支援の参考にしている。	・同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、お子様の発達段階からの課題の見極め、事業所で取り組んでいるプログラム内容や目的の共有、お子様の支援のポイントや方向性等を伝えるようにしています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	・園での様子、療育先での様子、保護者様から聞いた家での様子を共有できている。	・目の前のお子様の現状は、これまでの経験、発達段階や特性による問題等、行動の背景にある根本的な理由を伝えた上で、これからどの部分に着目し、配慮すべきか方向性が明確に見えるように回答することを心掛けています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	66%	34%	0%	・特に園での困り事がないが、療育先での困っている様子を聞くことができ、新たな発見もある。	・同事業所で児童発達支援をご利用いただいている場合には、園と事業所での様子を情報交換する事で、場所の違いによるお子様の背景にある問題や課題が見えています。お子様に携わる関係機関が連携をしながら、それぞれの立場で役割分担しながら関わっていきたく願っています。 ・保育所等訪問支援を通して、訪問支援先の困りごとが解消、軽減につながるように、より専門性を高め努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	84%	16%		・毎月2回来てくださっており、その都度情報共有できるため、ありがたい。	・保育所等訪問支援を通して、実際にお子様の成長を実感して抱けるように、事業所としての専門性、質の高いご提案ができるように精進いたします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・月2回来てくださり、色々な活動の姿を見ていただけてありがたいです。じっくりお話ができないことが多いですが、お話しできた時には療育先での園とは違う姿を聞くことができ、とても勉強になりました。訪問支援先での参考にもなります。ありがとうございます。</p> <p>・スマイルさんでの様子を伝えてくださいます。園での様子をこちらからも伝え、共有させていただくことにより、お子様にとって良い保育を進めていきやすいです。</p> <p>・いつも迷いながら接しているため、話をすることで安心することができています。園の保育士の「ねらい」をしっかりと伝えているので、理解していただけているようで良かったです。残り少ないですが、よろしく願います。</p>					<p>・日々の保育の時間内で話の時間を確保する難しさがある中で、いつも丁寧に対応していただき、ありがとうございます。話し合う時間の中では沢山情報を共有していただき、先生方の熱い思いがとても伝わってきます。訪問支援先の保育内容、先生方の連携から私たちもより良い支援を考えていくための参考にさせていただきます。</p> <p>・保育所等訪問支援を利用されているお子様は、同事業所の児童発達支援を利用されているため、それぞれの場所でのお子様の様子を細やかに伝え合うことができ、さらに訪問支援先で取り組むこと、事業所として取り組むこと等、役割を分担できることも強みであると思っております。今後も大きな集団で育っていかれるお子様が、自信を持って日々を過ごされるように訪問支援先での配慮を考えてまいります。さらに事業所の特性を活かし、個別や小集団対応の中でお子様の課題に向き合う時間を作り、成長を支え、訪問支援先の大きな集団でも力を発揮できるように連携してまいります。</p>	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 6人 (同一世帯あり)
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 6人 (同園あり)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様・保護者様・訪問支援先との信頼関係の構築や連携により、お子様の成長を支えられる環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、保育所等訪問支援ご契約児様は、同事業所で児童発達支援をご利用いただいているため、訪問時だけでなく日々継続的にお子様の様子を見ている。訪問支援先への送迎や話し合いの場等での情報交換を密に行い、訪問支援先との信頼関係づくりや連携が取りやすい環境になっている。お子様の訪問支援先と事業所、ご家庭での様子には違いがあり、エピソードを交えながら具体的に伝えるようにしている。</li> <li>・お子様だけではなく、保護者様との信頼関係を構築し、児童発達支援事業所の中でも課題に取り組める。訪問支援先の大きな集団での課題に対して、職員や環境構成への配慮の検討に留まることなく、事業所での個別課題に設定して取り組む等、それぞれの場所で役割分担をしてお子様を支える環境を整えやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、お子様を取り巻く人々とのコミュニケーションを密に取り、全体像を把握した上で、お子様の理解者を増やし生活しやすい環境を整える。</li> <li>・お子様が大きな集団の中で力が発揮できるように、児童発達支援事業所でのお子様の変化、手応え、お子様にとって必要な配慮をより具体的に説明していく。</li> <li>・引き続き、訪問支援先への保護者様の期待、不安を伝えるだけではなく、これまでの子育てや療育の中で大切にしてきた保護者様の思いを具体的に伝え、相談しやすい関係性の構築に努める。</li> </ul>
2	専門性の高い職員配置による行動分析や配慮の検討が可能(職員間の情報共有の徹底、PDCAサイクルの定着化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在事業所には、児童指導員、保育士だけではなく、機能訓練士(P.T、O.T)、心理担当職員が在籍している。同グループ内には機能訓練士(S.T)が在籍している。そのためお子様の行動分析に対して専門職の知識を活かし、対応することが可能である。</li> <li>・訪問支援先での様子は全職員で共有し、訪問支援員と児童発達支援管理者を含めた他職員(ニーズに応じた専門職)とお子様の行動が見られる根本的理由(発達段階、経験不足、お子様の特性、感覚の問題等)の見立てや取り組むべき課題・達成するための計画を立てている。その際に様々な職員の知識や経験から、多方面からのアプローチがないか相談しながら業務を進めている。訪問支援時でのお子様の課題に対する確認項目やアプローチを考えた上で訪問を実施。事後にお子様の様子を全職員で情報共有し、行動の評価・分析、事業所として取り組むべきこと(改善点)を明確にした上で、次回訪問に向けての計画を考えている。事業所内においてPDCAサイクルが定着化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の行動分析を多角的に行い、多方面からのアプローチがご提案できるように、職員一人一人が知識を深め、専門性を高めていく。</li> <li>・職員間での情報共有の徹底や相談体制を強化し、訪問支援員の育成を行っていく。</li> <li>・訪問支援先の保育・教育方針や意向を尊重し、職員の方の見解を踏まえたより充実した計画の策定に尽力する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業の発信方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携に力を入れているため、ご利用児様は同事業所の児童発達支援をご利用されている。そのため保育所等訪問事業については、個々に直接保護者様に説明する発信が中心になっている。</li> <li>・事業所パンフレット、訪問支援先用へのパンフレットを基に、関係機関(区役所、相談支援事業所、保育所、幼稚園、小学校等)に発信しているが、口頭での補足説明が中心になっている。</li> <li>・個別・訪問支援先のプライバシーの配慮の問題があり、写真撮影が難しく、定期的通信の発行やHP・SNS等で、活動の詳細について情報発信に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所は児童発達支援と保育所等訪問の2つの障害福祉サービスをご利用可能である。その中で児童発達支援の発信が中心になっている。今後、保育所等訪問支援を通して、お子様にどのような成長が見られたか訪問支援先の声や保護者様の声を掲載するHPの作成等、活動のより細やかな発信方法を検討していく。</li> </ul>
2	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、事業所と契約いただいているお子様が関わっている関係機関との情報交換や連携が中心になっているため、地域で行われる協議会や子ども・子育て会議等への参加に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同グループ内に同じ区内の事業所があるため、事業所間で連携を取りながら、地域への参加の仕方を検討していく。</li> </ul>